

経済研究所 年報

第 29 号
April 2016

研究報告

イスラム経済の基本構造……………加藤 博
イスラム金融は
何に対峙しようとしているのか
——伝統・近代・ポスト資本主義——
……………長岡 慎介

Japanese immigration in Mexico
……………Jesús Arroyo Alejandro
Elizabeth Delgado García

The role of FDI in Mexican industrial
restructuring and its impact on regional
development : The case of Japanese FDI,
2006-2014

……………Salvador Carrillo Regalado

シンポジウム〈成城学園創立100周年記念〉

「中小企業支援・政策システムの行方」

中小企業支援・政策システムの現状と課題

……………村本 孜

趣旨説明……………鹿野 嘉昭

地方創生と地域金融機関の支援

取組みの課題……………家森 信善

西武信用金庫の中小企業支援の

現状と今後……………落合 寛司

地域金融機関に期待される役割

……………西田 直樹

実践的な支援を！……………斎藤 聖美

討 論

成 城 大 学

經 濟 研 究 所
年 報

第 29 号

成 城 大 学

THE INSTITUTE FOR ECONOMIC STUDIES
OF
SELJO UNIVERSITY
2016

巻 頭 の 辞

本年の1月末に日本銀行が導入を決定したマイナス金利政策がどのような影響を日本経済にもたらすか、論壇やマスコミの大きな話題となっている。一方に、期待に働きかけるこれまでの金融緩和政策の強化として、脱デフレのため、そして日本経済の復活のために必要である、その効果に大いに期待できるとの論がある。他方において、これは金融緩和政策の限界を示すものであり、大きな期待は出来ず、むしろ経営者や消費者の心理を弱気にさせ、实体经济に対して逆効果を与えるとの懸念が語られている。ヨーロッパ中央銀行やスイス、デンマークなどヨーロッパの一部の国では、マイナス金利政策が先行して採用されているが、必ずしも期待したほどの成果をもたらしていないとも言われている。

どちらの議論が正しいかは今後の経済の展開を待たなければならないが、世界経済に占めるわが国経済の比重の大きさを考えると、この政策の成否は世界中の注目の的となっている。確かにマイナス金利政策はこれまでの金融緩和政策の延長線上にあるともいえるが、マイナス金利の「マイナス」というイメージに対して消費者や経営者が感じる意味合いは、従来の金利の切り下げ政策とは異なるように思われる。行動経済学においては利得と損失に対する反応は対称的でないとする知見が得られているが、それを踏まえればマイナス金利によって期待に働きかけて、日本銀行が目標に掲げる2%の物価上昇率を実現できるかどうか、一層予測の難しい局面に入ったようにも思われる。様々な経済指標に目配りしながら、その効果と副作用を注意深く観察していく必要性がますます高まっている。今回導入されたマイナスの金利政策が金融機関の貸し出し行動に大きな影響を及ぼし、その収益構造に悪影響を与えることは必至である。そのことが企業規模の大小を問わず、一般企業の設備投資にどう影響するのか、また消費者の貯蓄や消費行動をどのように変えるのか、経済学的観点からのよりの確な理論的分析や綿密な実証研究が求められているといえよう。

2015年度、当研究所では2017年度に創立100周年を迎える成城学園の記念

事業の一環として、6月に「中小企業支援・政策システムの行方」というテーマで記念シンポジウムを開催した。中小企業金融に造詣の深い本学社会イノベーション学部の村本孜教授が基調講演を行い、パネルセッションでは座長に鹿野嘉昭先生（同志社大学教授）をお迎えし、学界や実業界、行政など様々な場で活躍されている4人のパネリスト、家森信善（神戸大学教授）、落合寛治（西武信用金庫理事長）、西田直樹（金融庁総務企画局審議官）、斎藤聖美（ジェイ・ボンド東証証券社長）の諸先生にわが国の中小企業支援や政策のあり方をめぐって、その問題点や改善方向などについて多様な視点から白熱した議論を展開していただいた。100人近い参加者がシンポジウムに集まり、成功裡に開催できた。秋には、昨今いろいろな意味で注目を集めているイスラム経済・金融の専門家である加藤博先生（一橋大学名誉教授）と長岡慎介先生（京都大学大学院准教授）をお招きして講演会が開催され、イスラム金融の意義や現状について興味深い論点が示されるとともに、有益な議論が交わされた。

こうした講演会以外の活動として、本研究所で組織している3つのプロジェクトで合計7回のミニ・シンポジウムが開催され、多くの研究報告も発行された。また、10月には学术交流協定を結んでいるメキシコのグアダハラハラ大学から数名の研究者が来訪し、ミニ・シンポジウムを開催するなど活発な研究活動を行ってきた。

2016年度は成城学園創立100周年にちなんだ企画の第2弾として、記念シンポジウムを6月に開催する予定である。本年度も、当研究所の研究活動やその成果を社会に向けて積極的に情報発信を行っていききたい。デフレ状況を抜け出せずに、混迷する日本経済の打開に向けて、新たな知見をもたらすことができれば、と考えている。学内外の関係者の一層のご支援をお願いしたい。

2016年4月

成城大学経済研究所長

手塚 公 登

目 次

巻頭の辞	手塚公登	1
研究報告		
イスラム経済の基本構造	加藤博	5
イスラーム金融は 何に対峙しようとしているのか	長岡慎介	45
—伝統・近代・ポスト資本主義—		
Japanese immigration in Mexico	Jesús Arroyo Alejandro Elizabeth Delgado García	79
The role of FDI in Mexican industrial restructuring and its impact on regional development : The case of Japanese FDI, 2006-2014	Salvador Carrillo Regalado	99
シンポジウム〈成城学園創立100周年記念〉		123
「中小企業支援・政策システムの行方」		
中小企業支援・政策システムの現状と課題	村本 孜	124
趣旨説明	鹿野 嘉 昭	135
地方創生と地域金融機関の支援取組みの課題	家 森 信 善	137
西武信用金庫の中小企業支援の現状と今後	落 合 寛 司	145
地域金融機関に期待される役割	西 田 直 樹	149
実践的な支援を！	斎 藤 聖 美	154
討 論		160
研究所だより		177
前号目次・編集後記		183
「経済研究所年報」刊行一覧		184

研究所だより

◆会 議

運営委員会

平成27年度

第1回 平成27年4月23日(木)

第2回 平成27年10月22日(木)

第3回 平成28年3月10日(木)

所員会議

平成27年度

第1回 平成27年4月21日(火)

第2回 平成27年10月20日(火)

第3回 平成28年2月29日(月)

企画委員会

平成27年度

第1回 平成27年4月9日(木)

第2回 平成27年7月16日(木)

第3回 平成27年10月15日(木)

◆研究報告会

第79回 (学園創立100周年記念シンポジウム)

日 時 平成27年6月20日(土)

テーマ 「中小企業支援・政策システムの行方」(本号に掲載)

基調講演 村本孜氏(所員)

座 長 鹿野嘉昭氏(同志社大学経済学部教授)

パネリスト 家森信善氏(神戸大学経済経営研究所教授)

落合寛司氏(西武信用金庫理事長)

西田直樹氏(金融庁
総務企画局審議官(監督局担当))

齋藤聖美氏(ジェイ
・ボンド東短証券株式
会社代表取締役社長)

第80回

日 時 平成27年10月10日(土)

<第1部>

講演者 加藤博氏(一橋大学名誉教授)

演 題 「イスラム経済の基本構造」

(本号に掲載)

<第2部>

講演者 長岡慎介氏(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科准教授)

演 題 「イスラーム金融は何に
対峙しようとしているの
か—伝統・近代・ポスト
資本主義—」

(本号に掲載)

経済研究所共催 日本金融学会中央
銀行部会

日 時 平成27年9月10日(木)

<第1部>

講演者 加藤出氏(東短リサーチ
株式会社代表取締役社長
チーフエコノミスト)

演 題 「金融規制と政府債務が
日銀QQEに与える影
響」

<第2部>

講演者 須田美矢子氏 (キャノン
グローバル戦略研究所特
別顧問 (元日本銀行政策
委員会委員))
演題 「政策担当者と学者の違
いについて—金融政策運
営に携わって—」

題目 「マレーシアで見た日系
企業・ビジネスの現状と
課題」

第5回

日時 平成28年1月19日 (火)
発表者 浅井良夫氏 (所員)
題目 「1950年代の世界銀行と
日本の「開発」」

◆ミニ・シンポジウム

第1回

日時 平成27年5月28日 (木)
発表者 渡辺大樹氏 (バングラデ
シュ NGO エクマットラ
顧問)
題目 「アジアにおけるソーシ
ャルビジネス」

第6回

日時 平成28年2月29日 (月)
発表者 大森弘喜氏 (所員)
題目 「オピタル・ジェネラル
とは何か—物乞いと浮浪
者の抑圧と救済—」

第2回

日時 平成27年6月30日 (火)
発表者 王 東明氏 (大阪市立大
学大学院創造都市研究科
准教授)
題目 「中国証券市場の形成と
発展」

第7回

日時 平成28年3月17日 (木)
発表者 藤倉孝行氏 (独立行政法
人中小企業基盤整備機構
ファンド事業部ファンド
事業企画課)
題目 「最近のベンチャーファ
イナンスの動向—東南ア
ジア地域における投資動
向を交えて—」

第3回

日時 平成27年11月17日 (火)
発表者 立川 潔氏 (所員)
題目 「『国富論』における投機
と過剰取引—調和的世界
に対する確信とその揺ら
ぎ—」

発表者 矢口雅哉氏 (独立行政法
人中小企業基盤整備機構
国際交流センター国際交
流課)

題目 「インドネシアの概況—
現地赴任を踏まえて—」

第4回

日時 平成27年12月17日 (木)
発表者 塘 誠氏 (所員)

日墨学術交流

日時 平成27年10月21日 (水)
発表者/題目

[Economic Analysis and Prospects]

Dr. Salvador Carrillo Regalado,
“Japan-Mexico EPA’s Impact in Commercial Activities during 2005-2014”

Dr. Leo Guzman Anaya,
“Localization Factors from Japanese FDI in Mexico: A Spatial Analysis”

Dr. Tomohiro Kakihara,
“Retail Finance in Mexico: Current Situations and Issues”

Mtra. María Guadalupe Lugo Sánchez,
“The Role of Public Policies in Attracting Japanese FDI in Mexico’s Western Region: Preliminary Results in the Automotive Industry”

[Socio-Cultural Analysis and Prospects]

Dr. Jesus Arroyo Alejandro,
“A View of Japanese Immigration in Mexico”

Dr. Antonio Mackintosh Ramirez,
“Japan-Mexico Cooperation and its Possibilities: Analysis of a Case under the CDM Agreement”

Mtra. Martha Elena Campos Ruiz,
“Quality of Japanese Lifestyle in

Guanajuato State of Mexico”

Dr. Taku Okabe,
“New Framework of Antitrust Act of Mexico and its Implication in the Flow of Foreign Direct Investment”

◆刊行物

長期プロジェクト報告として以下の書物を刊行した。

村本 孜(所員) 著
中小企業支援・政策システム
—金融を中心とした体系化—

村本 孜(所員) 著
民法改正と個人保証—議論の整理: 中小企業金融との関連において—
(経済研究所研究報告 No. 71)

[Economic impact of Economic Partnership Agreement Mexico-Japan—theoretical and empirical aspects—]

(経済研究所研究報告 No. 72)

María Guadalupe Lugo Sánchez,
(Research assistant Studies Program between Mexico and Japan University Center of Economic and Administrative Sciences University of Guadalajara)

Salvador Carrillo Regalado,
(Researcher of Department of Regional Studies-INESER University Center of Economic and

Administrative Sciences University
of Guadalajara)

Rafael González Bravo,
(Research assistant Studies Program
between Mexico and Japan Univer-
sity Center of Economic and
Administrative Sciences University
of Guadalajara)

Leo Guzman Anaya,
(Researcher of Department of
Human Resources University Center
of Economic and Administrative
Sciences University of Guadalajara)

「Regional development and interna-
tionalization of Mexico」

(経済研究所研究報告 No. 73)

J. Jesus Arroyo Alejandre,
(Researcher of Department of Re-
gional Studies-INESER University
Center of Economic and
Administrative Sciences University
of Guadalajara)

Martha Elena Campos Ruíz,
(Researcher of Department of Re-
gional Studies-INESER University
Center of Economic and
Administrative Sciences University
of Guadalajara)

Antonio Mackintosh R.,
(Researcher of Department of
Human Resources University Center
of Economic and Administrative

Sciences University of Guadalajara)

Taku Okabe,
(Researcher of Department of Re-
gional Studies-INESER University
Center of Economic and
Administrative Sciences University
of Guadalajara)

王 東明 (大阪市立大学大学院創造
都市研究科准教授) 著

中国株式市場の形成と発展のロ
ジックを考える—「移行経済型
市場」の形成を中心に—
(経済研究所研究報告 No. 74)

岩崎 尚人 (所員)・黄 賀 (成城
大学大学院経済学研究科博士課程後
期) 共著

中国企業の在日法人の経営体制
に関するアンケート調査分析
(経済研究所研究報告 No. 75)

〔組 織〕

所 主	長 事	手 立	塚 川	公	登 潔	(平成28年4月1日現在) 社会イノベーション学部教授 経済学部教授
運 営 委 員		手 立	塚 川	公	登 潔	所 主
		白 村	井 瀬	英	之 銅	経 済 学 部 長
		鋤 古	本 川	豊 良	博 治	文 芸 学 部 長
		佐 明	藤 石	文 茂	夫 生	法 学 部 長
						社会イノベーション学部長
所 員		相 明	原 石	茂	章 生	所 員
(50音順)		浅 井	地 知	良 寛	夫 博	経 済 学 部 教 授
		伊 岩	崎 杉	尚 富	人 之 一	経 済 学 部 教 授
		上 上	田 田	晋 真	一 人	文 芸 学 部 教 授
		内 大	隈 津		宏 武	経 済 学 部 教 授
		大 川	崎 平	恭	治 裕	社会イノベーション学部教授
		小 小	宮 路	雅	博 夫	経 済 学 部 教 授
		佐 庄	藤 司	文 匡	宏 行	経 済 学 部 教 授
		杉 立	本 川	義	行 潔	法 学 部 教 授
		塚 手	原 塚	英 公	敦 登	経 済 学 部 教 授
		塘 中	田 井	真 清	誠 男	社会イノベーション学部教授
		花 林	井 田	幸 伸	人 司	経 済 学 部 教 授
		林 平	田 井	康	一 大	経 済 学 部 准 教 授
		平 福	野 光		創 寛	文 芸 学 部 教 授
		牧 村	野 田	圭 裕	子 志	社会イノベーション学部教授
		山 重	重 芳		子 子	経 済 学 部 教 授

客員所員 (50音順)	岡	部	拓	ハリスコ州立 ゲアダラハラ大学教授
	吉	川	卓也	中村学園大学流通科学部准教授
	角	田	俊男	武蔵大学人文学部教授
	都	留	信行	産業能率大学経営学部准教授
	花	枝	英樹	中央大学総合政策学部教授
	福	島	章雄	本学非常勤講師 山梨大学教育人間科学部非常勤講師
	藤	倉	孝行	独立行政法人 中小企業基盤整備機構
研究員 (50音順)	峯	岸	信哉	名古屋経済大学経済学部准教授
	柿	原	智弘	本学大学院社会イノベーション 研究科博士課程後期修了
	黄		賀	本学大学院経済学 研究科博士課程後期修了
	小	久保	雄介	本学大学院経済学 研究科博士課程後期修了
事務	松	尾	茉子	本学大学院経済学研究科 博士課程後期単位取得満期退学
	峯	岸	直美	大学事務局総務課
	柳	澤	美奈子	大学事務局総務課

前 号 目 次

研 究 報 告

中国華南の日系中小企業とローカル企業

—転換期を迎え、新たな方向に向かう— ……………関 満 博…… 7

中国経済の現状と課題

——「二つの罨」に挑む習近平政権 ……………関 志 雄…… 81

グローバリゼーションを

どうとらえればいいのか — 光と影 ……………平 井 俊 顕……107

戦前日本のリカードウ研究

—1869-1929年試論— ……………出 雲 雅 志……133

古代メソポタミアにおける市場、国家、貨幣

—商人的経済再考— ……………明 石 茂 生……163

編 集 後 記

成城大学経済研究所年報第29号をお届けいたします。

当研究所では昨年度、成城学園創立100周年記念シンポジウム、講演会、日墨学術交流を含めた8回のミニ・シンポジウムを、さらに日本金融学会中央銀行部会との共催事業を開催いたしました。

成城学園は2017年に創立100周年を迎えますが、その記念事業の一環として当研究所では6月にシンポジウム「中小企業支援・政策システムの行方」を開催いたしました。村本孜氏（本学イノベーション学部教授）の基調講演の後、鹿野嘉昭氏（同志社大学経済学部教授）を座長として、家森信善氏（神戸大学経済経営研究所教授）、落合寛司氏（西武信用金庫理事長）、西田直樹氏（金融庁総務企画局審議官（監督局担当））、斎藤聖美氏（ジェイ・ボンド東短証券株式会社代表取締役社長）から経験に根ざした刺激的で貴重なご報告をいただきました。加えて、座長と報告者との質疑応答、フロアからの発言によって議論がいつそう深まり、今後の中小企業支援の方向性を示唆する有益なシンポジウムとなりました。

10月の講演会では、イスラーム経済をテーマとして、加藤博氏（一橋大学名誉教授）から「イスラーム経済の基礎構造」、長岡慎介氏（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授）から「イスラーム金融は何に對峙しようとしているのか—伝統・近代・ポスト資本主義—」と題してご講演いただきました。さらに満席のフロアとの活発な質疑応答によって、日本人には馴染みのうすいイスラーム経済およびイスラーム金融の理解がいつそう深まり、貴重な時間を過ごすことができました。

本号は、これら成城学園創立100周年記念シンポジウムと講演会の内容と成果を、さらに10月に開催した日墨学術交流ミニ・シンポジウムの参加者の中から Salvador Carrillo Regalado 氏と Jesús Arroyo Alejandro 氏から寄稿いただいた論文を掲載いたしました。お忙しい中、ご協力いただいた諸先生方に改めて厚くお礼申し上げます。

本年度は、昨年度から引き続き、研究第1部プロジェクト「成熟経済の歴史的位相」、研究第2部プロジェクト「成長企業支援の金融システムと政府支援の比較研究—成熟経済・成長経済・開発途上経済の課題解決に向けて—」を進めるとともに、新たに研究第3部プロジェクト「成熟化する産業社会におけるビジネスシステムの構築に関する研究」を開始いたします。今後とも研究所の活動をより活性化させていく所存ですので、皆様のいつそうのご協力をよろしくお願いいたします。（立川記）

「経済研究所年報」刊行一覧

号数	執筆者	タイトル	発行年月
1	堀家文吉郎 中村 英雄 村本 孜 高垣文庫貴重書目録一追加 No. 1—	ソーントンの周辺 ジョン・ローの「墓碑銘」といわれるものについて 高垣経済学的一端	1988. 3
2	堀家文吉郎 麻島 昭一 片木 進 浅井 良夫	貨幣数量説とデビット・ヒューム 日本の金融制度再編——分業主義のゆくえ—— 決済ネットワーク発展の動向とリスク 占領期の金融制度改革と独占禁止政策	1989. 3
3	津田 内匠 長谷川輝夫 井田 進也 宮崎 洋	フランス革命と産業主義 18世紀フランスにおける民衆と活字本 憲法か革命か——明治前期日本人の見たフランス革命—— 18世紀のフランスにおける旅について	1990. 4
4	島村 高嘉 清水 啓典 金井 雄一 伊東 政吉 座 談 会	中央銀行の政策思想 情報化社会と日本の金融制度 イギリスにおける金融政策の形成と展開 アメリカにおける金融制度改革 ——金融政策との関連を中心として—— 高垣寅次郎博士を偲ぶ	1991. 4
5	岩武 照彦 松田 博 仁保 義男 シンポジウム インタビュー	『近代中国通貨統一史——十五年戦争における通貨闘争』 について 京都大学経済学部所蔵貴重書——その整理の一こま—— 防衛支出の最適水準についての一考察 (セミナー報告) 金融制度改革 (原司郎・楠本博・高木仁・西條正弘・村本孜) 『世界各国の金融制度』の思い出 (大月 高)	1992. 4
6	江口 英一 伊藤 正直 大田 弘子 両角 和夫 釜江 廣志	金融政策の中立性と中央銀行の独立性 ——中央銀行の役割と在り方—— フロート制移行期のわが国為替政策をめぐって 保険制度の改革について ——保険審議会答申をめぐって—— 現代農業金融問題と発生の背景 日本の国債市場と金利の期間構造	1993. 4

号数	執筆者	タイトル	発行年月
6		長期プロジェクト研究報告 世界貿易の進展と構造変化：中間報告 (明石茂生) わが国金融・資本市場の制度改革：中間報告 (花枝英樹) 協同組織金融機関の制度改革の方向 ——東京都の地域信用組合の規模の経済性——(村本 孜) ミニ・シンポジウム TSLの金融市場への影響に関する理論分析 (北川 浩) 政策金融と中小企業の設備投資 (三井 清) 情報の非対称性と資本市場の理論 (展望) (久保俊郎) 高垣文庫貴重書目録 ——追加 No. 2——	1993. 4
7	藪下 史郎 橋本 一夫 石野 典 立脇 和夫 原田 泰 シンポジウム 書 評	日本の銀行制度の安全性：歴史的展望 『信用金庫40年史』をめぐって ——協同組織金融機関の法制化にみる社会政策的側面—— 金融システムの安定性 ——1980年代後半以降の日本の金融経済との関連で—— 明治政府と英国東洋銀行 ——付「国立銀行条例」をめぐる疑問点—— バブルと金融政策 ——マネーサプライは外生である—— 保険の制度改革 (花輪俊哉・前川 寛・刀襦俊雄・村本 孜) 峰本暁子著『国際金融システムの変革 1797～1988』 近代文芸社 1993年 (立脇和夫)	1994. 4
8	花輪 俊哉 高木 仁 福光 寛 刈屋 武昭 村本 孜 小平 裕 ミニ・シンポジウム	銀行の将来 アメリカ銀行業は衰退産業か？ ナローバンク論とコアバンク論 オプション理論の考え方と応用可能性 金融デリバティブと地域金融機関 わが国の公的年金制度の動学的応用一般均衡分析 金融派生商品の現状 (北島英夫) デリバティブの位相 (阿部重夫) 最近のデリバティブの動向について (中島敬雄) 金融デリバティブについて——金利スワップの プライシング・ヘッジを中心に (高橋豊治)	1995. 4
		金融学会1994年春季大会記事	
9	黒川 和美	行政改革のシナリオと地方分権	1996. 4

号数	執筆者	タイトル	発行年月
9	伊藤 修	メインバンク制および日本型金融システムの発展と展望	1996. 4
	森田 哲彌	外貨換算と原価主義会計	
	米澤 康博	派生取引の機能と現物市場へ与える効果	
	小谷 融	外貨建取引等会計処理基準の改訂について	
	高橋 一	金利の期間構造決定モデル (II)	
9	石川 欽也	『金融仲介機能の新たな展開への対応』(1995年5月)について ——デリバティブ取引への対応——	1996. 4
	浅井 良夫	追悼の辞 中村先生の思い出	
10	大塚 宗春	金融機関のトレーディング勘定への時価評価の導入について	1997. 4
	大西 又裕	企業年金会計の検討課題と方向性について	
	靄見 誠良	アジアの金融制度改革—マレーシアとインド—	
	那須 正彦	実務家ケインズとその経済学—中公新書版『実務家ケインズ』に即して—	
	小平 裕	企業の組織と非効率性	
11	岡田 清	取引費用経済学の系譜	1998. 4
	神田 秀樹	セキュリティタイゼーションの現状と課題	
	篠原三代平	東アジア経済のダイナミズムを考える	
	高野 義樹	住宅金融システムと債権の流動化	
	小山 明宏	ドイツ証券市場の問題と展望	
	シンポジウム	日本経済の構造変化と金融システム改革 問題提起 (寺西重郎)	
		金融システムの国際比較と日本版 ビッグ・バン (黒田晁生)	
		証券市場からみた金融ビッグ・バン (米澤康博)	
		金融技術革新の潮流 —リテール金融との関連で— (村本 孜)	
		情報化と金融システム改革 (池尾和人) 討論	
12	石 弘光	二元的所得税論について —利子・譲渡益をいかに課税すべきか—	1999. 4
	井堀 利宏	財政構造改革のゆくえ	
	林 健久	地方財政と経済政策・景気政策	
	吹春 俊隆	Newton 法による一般均衡解の計算	
	花枝 英樹	資産証券化の経済分析	

号数	執筆者	タイトル	発行年月
12	吉川 卓也	財務データからみたわが国企業の資産調達の特徴 および企業規模別借入金利率の計測	
13	田中 素香	EU 通貨統合と国民経済 ——グローバル化への対応を中心に——	2000. 4
	内田 真人	欧州通貨統合と金融政策 ——統合後1年の課題と展望を中心に——	
	田中 俊郎	EU 統合の現状と展望 ——拡大と深化の視点から——	
	西沢 保	救貧法から福祉国家へ ——世紀転換期の貧困・失業問題と経済学者・官僚——	
	秋元 英一	アーヴィング・フィッシャーとニューディール	
	明石 茂生	ケインズ『一般理論』再読—失いし世界	
14	小川 英治	通貨バスケット制導入の効果と障害	2001. 4
	原田 泰	統合は平和と繁栄をもたらすか ——経済統合とアジア——	
	根本 忠宣	欧州における金融システムの多様性と統合の影響	
	原 洋之介	世界史のなかのアジア経済 ——グローバリズムと地域性の経済学——	
	斎藤 純一	社会国家と統治の変容	
15	後藤 晃	日本のナショナル・イノベーション・システムと その改革	2002. 4
	島野 卓爾	欧州中央銀行 (ECB) のインフレーション・ターゲティング	
	長谷川公敏	日本経済はなぜ回復しないのか	
	宮川 公男	挑戦を受ける21世紀の資本主義文明	
	高月 昭年	日米銀行法制の違いと法律の沈黙	
16	首藤 恵	金融危機後のアジア資本市場の再構築	2003. 4
	堀内 昭義	第二次大戦後の金融システムの機能を評価する ——銀行経営ガバナンスの視点——	
	楠本くに代	「金融商品の販売等に関する法律」(「金融商品販売法」) 施行後の金融消費者保護の実態と取組むべき緊急 の課題——英国「2000金融サービス・市場法」と法施 行後の FSA の取り組みを参考に——	
	田尻 嗣夫	郵便預金・簡易生命保険の資金運用と欧米運用機関の教訓	
	村本 孜	グローバル化と効率・公平 ——展望と金融排除——	

号数	執筆者	タイトル	発行年月
17	藤田 誠一	グローバリゼーションとユーロ登場の意味	2004. 4
	浅沼 信爾	アジアの経済発展とグローバリゼーション	
	斎藤 聖美	ベンチャーで日本を活性化する	
	平尾 光司	アメリカにおけるベンチャーキャピタルの発展過程	
	江夏 由樹	中国東北地域の土地をめぐる中国と日本	
18	小野 有人	アジア域内における「最後の貸し手」の意義と課題 ——国際金融機関による政策競争の観点から——	2005. 4
	石山 嘉英	国際資本移動の増大と為替レート制度の選択	
	駒村 康平	21世紀型の社会保障制度を求めて ——2025年を視野に入れた改革——	
	石 弘光 佐藤 宏	少子・高齢社会における税・社会保障制度負担のあり方 現代中国における国家と農民 ——税制改革と所得分配——	
19	日向野幹也	小口金融における実店舗と「動線」の役割 ——日米英独の経験——	2006. 4
	岩田 健治	EU（欧州連合）の新しい金融サービス政策	
	矢野 誠	M&A 市場とその質	
	高橋 伸子	金融経済教育の現状と課題 ——金融消費者、個人投資家は育つか——	
	瀧澤 弘和	比較制度分析：枠組みと最近の展開	
	相原 章	コンピテンシーに基づく HRM の動向	
20	和田 一夫	年産200万台を超えるT型車をフォード社はどのよ うに達成したか？ ——フォード社の生産システム再検討——	2007. 4
	栗原 裕	量的緩和策の評価と課題	
	十川 廣國	企業と市場・社会—CSR の意義を考える—	
	池本 正純	企業家論の視点とコーポレートガバナンス	
	堀内 圭子	浮世絵を生かしたまちづくり ——小布施町の北斎と墨田区の北斎——	
21	経済研究所創立20周年記念		2008. 4
	伊丹 敬之	世界の中の日本、歴史の中の日本	
	岡田 清	わが国における金融経済学の発展 ——高垣寅次郎先生の事績——	
	Ichiro Uesugi Koji Sakai and Guy M. Yamashiro	Effectiveness of Credit Guarantees in the Japanese Loan Market	

号数	執筆者	タイトル	発行年月
21	大森 弘喜 シンポジウム	「都市空間論」の射程 イノベーション・システムの進化とそのガバナンス 趣旨説明 (伊地知寛博) 知的財産権制度の展開とイノベーション (小田切宏之) イノベーションの質的变化と新たな ガバナンスシステムの模索 (元橋 一之) アジアにおけるグローバル・イノベーション・ ガバナンスの構築にむけて (角南 篤) 討論	
22	寺西 重郎 鹿野 嘉昭 吉田 悦章 内田 真人 南里光一郎 平田 英明	明治大正の投資家社会 2003年以降における中小企業の経営財務面での 動きをめぐって —CRD の分析結果から— イスラム金融—国際金融界の新潮流 グローバルにおける住宅金融の急展開と混乱 スコアリング貸出の課題—新銀行東京を例に	2009. 4
23	原田 泰 井手 英策 水野 和夫 鎮目 雅人 文献解説 中川 和彦	日本国の原則—自由, 民主主義, 経済発展, 戦争, 平和について考える マクロ・バジェットインゲと増税なき財政再建 —高橋財政の歴史的教訓— 21世紀は陸と海のたたかい ～アメリカ金融帝国の終焉と資本主義の誕生～ 世界恐慌と経済政策 —『開放小国』日本の経験と現代— カルロス, F. R. およびセレスティーノ, R. E 共編 メキシコにおける中小企業: 現状および戦略的挑戦	2010. 4
24	鶴 光太郎 内田 聡 山上 秀文 渡邊 頼純	労働市場制度・雇用システム改革 —労働市場二極化問題を中心に— アメリカの金融システム ～ウォールストリートとメインストリート～ 経済開発に果たす国際プロジェクトファイナンスの役割 忍び寄る「新保護主義」と国際通商体制 —WTO, FTA/EPA, そして TPP の役割—	2011. 4

号数	執筆者	タイトル	発行年月
24	福井 俊彦	60周年記念特別講演 「厳しい生存競争に立ち向かう」	
25	岩田規久男 齊藤 美彦 権上 康男 倉都 康行 小平 裕	なぜ、日本銀行の金融政策では デフレから脱却できないのか 国債累積と金融システム・中央銀行 欧州通貨統合史の神話と実相 —スネイクから EMS へ— 準備（基軸）通貨の来し方・行く末 ネット公売の収入最大化	2012. 4
26	浦田秀次郎 松宮 基夫 西沢 保 矢後 和彦 内田 真人	日本のアジア太平洋経済戦略：TPP への対応 欧州債務問題の現状とグローバル経済への影響 創設期の厚生経済学と福祉国家 —マーシャルにおける経済進歩と福祉を中心に— 国際決済銀行の過去と現在 非伝統的金融政策の効果と限界：デフレ脱却と金融政策	2013. 4
27	田中 信孝 渡瀬 義男 代田 純 池島 正興 村本 孜	検証・日本の財政 —財政赤字の構造分析— アメリカの予算編成過程と財政民主主義 EU の国債とアベノミクス 戦後アメリカの国債管理と国債 日本型モデルとしての中小企業支援・政策システム —中小企業金融を中心した体系化—	2014. 4
28	関 満博 関 志雄 平井 俊顕 出雲 雅志 明石 茂生	中国華南の日系中小企業とローカル企業 —転換期を迎え、新たな方向に向かう— 中国経済の現状と課題—「二つの罫」に挑む習近平政権 グローバル化を どうとらえればいいのか—光と影 戦前日本のリカードウ研究 —1869—1929年試論— 古代メソポタミアにおける市場、国家、貨幣 —商人的経済再考—	2015. 4

「研究報告」（グリーン・ペーパー）刊行一覧

1	花枝 英樹	自己株式取得と企業財務	1994. 1
2	明石 茂生	世界貿易の進展と構造変化：1861-1991	1994. 1

号数	執筆者	タイトル	発行年月
3	村本 孜	協同組織金融機関の健全経営の一考察 ——労働金庫の自己資本の充実——	1994. 6
4	村本 孜	生命保険会社の競争力について ——銀行業務兼営を考慮した規模・範囲の経済性——	1994. 6
5	吉川 卓也 小平 裕	生命保険需要の特性分析 ——簡易保険と民間生命保険——	1995. 3
6	明石 茂生	国際収支と構造変化：1881-1991	1995. 3
7	花枝 英樹	なぜ企業は財務リスク管理を行うのか	1995. 3
8	村本 孜	協同組織金融機関の合併の一考察 ——労働金庫の規模の経済性の計測——	1996. 3
9	山口 一臣	アメリカ食品企業の環境戦略 ——マクドナルド社、スターキスト社 (ハインツ子会社)の事例を中心として——	1996. 6
10	小平 裕	金融機関のX非効率性の計測	1997. 2
11	浅井 良夫	経済安定本部調査課と大来佐武郎	1997. 3
12	海保 英孝	フィージビリティ・スタディの諸問題	1997. 3
13	手塚 公登	企業の資本構成と取引コストの理論	1997. 3
14	山田 稔	建設業労働者の賃金・賞与・退職金・年金 ——労務管理論的考察——	1997.11
15	池田 和宏	J. S. ミル国防論に関する一考察 ——1860年におけるアイルランド植民地との関連で——	1998. 1
16	立川 潔	J. S. ミルのリベラリズム批判 ——社会再生における権威の必要性の認識——	1998. 3
17	海保 英孝	業績の悪化と回復の作用機序について ——その論点とインプリケーション——	1998. 3
18	村本 孜	家計貯蓄率の将来推計	1998. 3
19	岩崎 尚人	企業間ネットワーク構築による戦略的革新の実現 ——中小トラック企業のケースから——	1998. 3
19	神田 良		
20	吉川 卓也	日本の個人金融資産需要の特性	1998. 3
21	福光 寛	資産担保証券の財務的意義について	1999. 3
22	角田 俊男	ヒュームの情念論と判断力 ——『人間本性論』をとおして——	1999. 3
23	花枝 英樹 吉川 卓也	資本構成問題の再検討	1999. 6
24	村本 孜	金融システムの国際比較分析 ——市場統合・通貨統合のもたらすもの——	2000. 3
25	浅井 良夫	「新長期経済計画」と高度成長初期の経済・産業政策	2000. 3
26	篠原 光伸	デリバティブとヘッジの会計 ——国際会計基準設定までの推移と今後——	2000. 3
27	塚原 英敦	Empirical Copulas and Some Applications	2000.12

号数	執筆者	タイトル	発行年月
28	山重 芳子	An'Austrian'Model of Environment and Trade	2001. 1
29	手塚 公登 井上 正	企業特殊的人的投資とアウトプットの最大化	2001. 3
30	立川 潔	若き S. T. コウルリッジの急進主義思想 (上) ——1795年プリストル道徳政治講演の啓示宗教的基礎——	2001. 3
31	福光 寛	公社債投資信託の元本割れをめぐって	2002. 3
32	角田 俊男	周縁にとっての主権と商業 ——ブリテン, ヨーロッパの 公共空間を開くヒューム哲学——	2002. 3
33	福島 章雄	経済・市場統合の展開 ——NAFTA の成立とメキシコの通貨危機——	2002. 3
34	小平 裕	Mathematica によるミクロ経済学	2002. 3
35	Gordon de Brouwer	The IMF and East Asia : A Changing Regional Financial Architecture	2003. 3
36	手塚 公登 浅野 義	年金民営化と「スイッチング」問題	2003. 3
37	福島 章雄 峯岸 信哉 村本 孜	経済統合の類型と金融システム・金融政策	2003. 3
38	明石 茂生	「前近代」世界システム：形成と変容	2004. 3
39	山村 延郎 松田 岳	米独の預金保護制度の比較分析 ——破綻処理と規律付けを中心に——	2004. 3
40	村本 孜	アメリカの地域金融促進政策—CRA の問題—	2004. 3
41	小平 裕 佐々木 覚亮	わが国の社会会計行列の作成	2004. 5
42	浅井 良夫	IMF 8 条国移行と貿易・為替自由化 (上) ——IMF と日本：1952～64年——	2005. 3
43	大森 弘喜	近代フランスにおける労使関係とディリジスム	2006. 3
44	上田 晋一	二酸化炭素排出枠の公正価値会計： IFRIC 第3号の検討	2006. 3
45	岩崎 尚人 海保 英孝 相原 章 福田 和久 都留 信行	中堅・中小企業の ステイクホルダー・マネジメントの研究	2006. 5
46	浅井 良夫	IMF 8 条国移行と貿易・為替自由化 (下) ——IMF と日本1952～64年——	2007. 3
47	福光 寛	証券化の功罪：サブプライム問題を振り返る	2007.10
48	沼尻 晃伸	戦間期・戦時期日本における方面委員論に関する ——考察——都市社会事業と「公」・「公共」——	2008. 3
49	西久保浩二	福利厚生制度の現状と課題	2008. 3

号数	執筆者	タイトル	発行年月
50	小藤 康夫	大学経営の構造と機能	2009. 2
51	小平 裕	経営者報酬と企業の行動目的	2009. 3
52	大岡 聡	昭和戦前・戦時期の百貨店と消費社会	2009. 4
53	数阪 孝志	地銀決算にみる地域金融の問題点	2010. 4
54	Carlos Fong Reynoso	Some Issues of the Medium-and Small-Sized Enterprises in Mexico	2010. 6
	Taku Okabe		
	Akio Fukushima		
	Tomohiro Kakihara		
55	角田 俊男	都市共和国の伝統を継受する専制帝国 —啓蒙の歴史叙述とビョートルの改革—	2010.12
56	大隈 宏	EU とミレニアム開発目標 —グローバル・パートナーシップの模索—	2012. 2
57	明石 茂生 柿原 智弘	日系企業のメキシコ進出： ハリスコ州の事例を中心に	2012. 3
58	岩崎 尚人 相原 章 橋本 菜子	人的資源管理システムの構築に関する研究 —ダイバーシティ・マネジメントへのアプローチ—	2012. 3
59	中田真佐男	消費者による小額決済手段選択の現状： アンケート調査を用いた分析	2012. 9
60	駒形 哲哉	中国の社会主義市場経済と中小企業金融	2012. 9
61	青山 和正	ベトナムの中小企業政策に関する研究 —ベトナムの中小企業振興施策の現状と課題—	2013. 1
62	角田 俊男	越えがたい懸隔と永久の分離 —パークと東インド会社の帝国統治1778—95年—	2013. 2
63	Jesus Arroyo Alejandro David Rodríguez Álvarez Salvador Carrillo Regalado Taku Okabe Tomohiro Kakihara	Regional development in Mexico —socio-economic regional development and foreign direct investment—	2013. 3
64	福光 寛	中国概念股の危機はなぜ生じたのか	2013. 7
65	村本 孜	中小企業憲章の制定とその意義 —中小企業政策のイノベーション—	2013. 7
66	長谷川 清	リレーションシップバンキング行政の成果と課題	2013.11
67	立川 潔	エドマンド・パークにおける市場と統治 —自然権思想批判としての『穀物不足に関する思索と詳論』—	2014. 3
68	福光 寛	中国のシャドーバンクをどうとらえるか —さまざまな定義の併存 肯定説と中小企業金融への貢献説—	2014.11
69	福光 寛	中国の銀行理財についての規制	2015. 1
70	岩崎 尚人 黄 賀	中国の経済成長と展望	2015. 2

号数	執筆者	タイトル	発行年月
71	村本 孜	民法改正と個人保証 —議論の整理：中小企業金融との関連において—	2015. 9
72	María Guadalupe Lugo Sánchez Salvador Carrillo Regalado Rafael González Bravo Leo Guzman Anaya	Economic impact of Economic Partnership Agreement Mexico- Japan —theoretical and empirical aspects—	2016. 1
73	J. Jesus Arroyo Alejandro Erika Elizabeth Sandoval Magaña Martha Elena Campos Ruíz María Guadalupe Limón Herrera Antonio Mackintosh R. Taku Okabe	Regional development and internationalization of Mexico	2016. 2
74	王 東明	中国株式市場の形成と発展のロジックを考える —「移行経済型市場」の形成を中心に—	2016. 2
75	岩崎 尚人 黄 賀	中国企業の在日法人の経営体制に関する アンケート調査分析	2016. 3

「モノグラフ」刊行一覧

1	村本 孜	制度改革とリテール金融 (平成6年 中小企業研究奨励賞を受賞) (平成9年 生活経済学会賞を受賞)	1994. 3
2	白鳥庄之助 村本 孜 花枝 英樹 明石 茂生 (共著)	金融デリバティブの研究 ——スワップを中心に——	1996. 3
3	村本 孜 (編著)	グローバリゼーションと地域経済統合	2004. 3
4	村本 孜	中小企業支援・政策システム —金融を中心とした体系化—	2015. 6

* バックナンバーをご希望の方は、当研究所までご連絡下さい。

問い合わせ先：成城大学経済研究所

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

TEL：03-3482-9185, 9187

FAX：03-3482-7851

e-mail：keiken@seiyo.ac.jp

成城大学 経済研究所年報 第29号

平成28年 4月10日 印 刷

平成28年 4月20日 発 行

非売品

発 行 手 塚 公 登
責 任 者

発 行 成城大学経済研究所

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

電 話 03 (3482) 9187 番

印刷所 白陽舎印刷工業株式会社

THE ANNUAL BULLETIN

of

The Institute for Economic Studies

No. 29

April 2016

CONTENTS

Preface	1
Articles	
Fundamental structure of Islamic Economy	Hiroshi KATO..... 5
What does Islamic Finance Confront? Tradition, Modernity, and Post-Capitalism	Shinsuke NAGAOKA..... 45
Japanese immigration in Mexico	Jesús Arroyo Alejandre..... 79 Elizabeth Delgado García
The role of FDI in Mexican industrial restructuring and its impact on regional development : The case of Japanese FDI, 2006-2014	Salvador Carrillo Regalado..... 99
Symposium	
Support Systems of SME Financing and Its Prospects in Japan	123
Tsutomu MURAMOTO Yoshiaki SHIKANO	
Nobuyoshi YAMORI Kanji OCHIAI	
Naoki NISHITA Kiyomi SAITO	
Communications	177